

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	創設時に作成した理念及び倫理綱領はあるものの、職員間での確実な共有が出来ておらず、又具体的な行動指針を作成していない。	理念と倫理綱領を職員間で確実に理解、共有し日々のケアに反映すると共に、具体的な行動指針を元に入居者様やご家族に信頼していただけるケアを行う。	職員会議にて理念及び倫理綱領を改めて確認しました。今後各職員に具体的な行動指針の提案をして頂き、精査した上で意見をまとめグループホームとしての行動指針を作成したいと思います。	3ヶ月
2	4	現状の運営推進会議は近況の報告や今後の予定のお知らせ等になっており本来のあるべき運営推進会議の内容となっておらず、参加していただいている方も限定されてしまっている。	グループホーム側から地域へ情報を発信していける仕組みを構築し、積極的に地域へ関わっていく。又ご家族や近隣の方々にも運営推進会議のお知らせを送付し様々な方に運営推進会議へ参加していただく。	グループホームからの発信として認知症サポーター養成講座をホームにて開催し、ご家族や近隣の方にも参加していただく予定です。自治会長様に会議への出席を要請済みです。また入居者のご家族すべてに会議出席のご案内を送付します。	3ヶ月
3	33	初めての看取りであった為職員間で看取りへの理解度に個人差があり対応に迷ったり悩んだ職員が多かった。また看取りの基本となるマニュアルや指針が不十分であった為、緊急時など落ち着いた対応が出来なかった。	看取りに関わる職員すべてがターミナルケアを理解し、具体的な指針に沿ってケア出来るようにする。またターミナルケアにおける緊急時の対応等のマニュアルを別途作成し落ち着いた対応が出来るようにする。	ターミナルケアに関わった職員すべてにアンケートを配布し集計し今後のターミナルケアに活かす。またターミナルケアの対象となった入居者様のご家族にもアンケートを記入していただき今後活かす。入居時にターミナルのご希望をお聞きする。	3ヶ月
4	35	形だけの避難訓練となってしまうと、実際に災害になった時の2階からの非難に大きな不安がある。また施設職員のみで避難訓練を行っていて近隣の皆様には災害時の協力要請していない。	職員全員が訓練の動きを詳細に把握する。実際の災害時2階からどのように非難すればいいか実践する。近隣の皆様にも避難訓練に参加していただく。	詳細な訓練計画を作成する。職員が2階滑り台を使用し模擬避難を行う。自治会回覧板に避難訓練のお知らせを添付し、近隣の方々にも避難訓練に参加していただく。また災害時自治会の防災担当者に避難誘導等のお手伝いをお願いする。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。